

父の言葉

校長 梅林 栄作

まだ、寒い日が続いていますね。でも、温かく感じる日数も少しずつ増えてきて、春の訪れを感じます。

さて、私事ですが昨年、還暦という節目の年齢になりました。今までの人生を振り返ったとき、ここという場面で、父親の言葉に背中を押されてきたことを実感しています。今回は父親の言葉について書いてみます。

幼稚園はやめてもいい。ただし小学校は義務教育だから行かなければならない。

札幌に住んでいた頃のことですが、幼稚園に途中から入ることになりました。すでに人間関係ができあがっている状態で幼稚園になかなかなじめず、毎日登園をぐずっていました。母は泣きじゃくる私を強引に幼稚園に連れて行きました。1ヶ月ぐらいそんな生活が続きましたが突然、父が「幼稚園には行かなくていい」と言い出しました。そのときまさに青天の霹靂でした。その後、幼稚園をやめて自由を手に入れたと思った瞬間、家から出ることができなくて、自由を失ったことに気がつくのですが…。小学校は何とか頑張って登校しました。

大学の友人とは一生の友人に 新聞は毎日書かさず読め

大学を卒業していよいよ教師になるというときの父の言葉です。「大学の友人」とは教師以外の民間の友人という意味でした。学校、教師というのはけっこう狭い世界だから、違った立場、視点で話ができる友人を持つということで、大学時代に仲の良かった友人3人で卒業以来ほぼ毎年会って情報交換などしてつきあいは今でも続いています。新聞は政治、経済、文化、スポーツ、娯楽等様々な記事が掲載されていて、毎日、新聞を読む習慣をつけて社会一般の常識を身につけるという意味があったと思います。おかげである程度の知識は身につきました。

自分のやりたいように生きろ

小学校の教師になって3年たった頃に中学校の教師になりたいと父に相談したときに反対されました。それから、父が病に倒れ息を引き取るときに「自分のやりたいように生きろ」という言葉を残しました。以前に中学校教師になることを反対したことが気になっていたのでしょう。まさに私への遺言となりました。その後、中学校の教師になって最初は苦労したけれども、かけがえのない教師生活ができたことは一生の思い出になっています。

今思えば、人生の岐路に立ったときに父の言葉は、私にとってはとても重要な道しるべとなりました。私も2人の息子を持つ父親ですが、果たして息子達にそのような影響を与えてきたのか正直わかりません。しかし自分の経験上子どもは親の背中を見ていることは間違いありません。我が子にとって良い手本となることは親として必要不可欠であると確信しています。



行事予定

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
			代表委員会	出前授業(1年) 幼稚園給食交流会(4-3) 6年社会見学	お休み	お休み
5	6	7	8	9	10	11
感謝の朝礼 クラブ活動				6年生を送る会(5校時)	お休み	お休み
12	13	14	15	16	17	18
クリーン作戦				校外児童会(4校時) 卒業式リハーサル 給食終了	お休み	お休み
19	20	21	22	23	24	25
卒業式準備	卒業証書授与式	春分の日		修了式 大掃除	お休み	お休み
26	27	28	29	30	31	
春期休業日						

4月の主な行事 (変更がある場合がありますので御承ください)
 9日(月) 始業式 10日(火) 入学式 12日(木) 給食開始(2~6年)
 24日(火) 参観懇談(5・6年) 25日(水) 参観懇談(1年)
 26日(木) 参観懇談(2・3・4年) 27日(金) 参観懇談(くすのき)

第50回卒業証書授与式

3月20日(火) 卒業証書授与式を挙行します。最高学年として全校生のお手本となり様々な場面でリードしてくれた6年91名が卒業します。

当日は5年生が式に参加します。他の学年は家庭でお祝いください。当日は午前10時からの開式です。



「ミマモルメ」一斉メールサービスへの登録をお願いします【阪神安心サービス】

お申込みはWEBサイトから

以下のURL、またはQRコードよりお申込みください。
<https://hanshin-anshin.jp/entry/>

一斉メールサービス・登下校メールサービスをお申込みいただいた方には、後日、ID票を発行いたします。ID票を使用して、ご自身でメールアドレスをご登録ください。(ID票のお届けまで約2週間かかります。)

ID票が届いたら、メールアドレスの登録をお願いします。